

# 富士見工業団地工業会ニュース

発行責任者 沼尾幸一  
広報委員会・事務局 (青木)

## 平成 28 年賀詞交歓会開催

平成 28 年新春を迎え、改めておめでとうございます。明日、2月3日の節分を境に「暦の上では」新しい年になります。ご臨席の皆様には今年もどうぞ、ご健康で、ご多幸の年になりますよう、冒頭にあたり、心よりお祈り申し上げます。省略・・・さて、昨年の工業会事業についてのご報告は、お手元の工業会ニュースに、各委員長の報告が記載されていますので割愛いたします。工業会は皆様のお陰で、昨年度、創立35年を迎える事が出来ました。又、今年、同友会も18年を迎えます。これまで、富士見工業会の事業は「工業会企業に何がお役に立てるか！地域社会へお役に立てるか！」を目的に、毎月定例会を開催して来ました。当初は、各社さんの会議室をお借りして運営をしてまいりました。平成10年に、待望であった工業会自前の事務所「工業会コミュニティセンター」が完成いたしました。このコミュニティセンター完成には、本日ご臨席頂いております、元「日本住宅公団の侍、鳴海さんのご指導と日本スタンゲ様の絶大なるご支援ご協力があり、工業会の事業の基盤であるお城が完成致しました。さて、この城から発進した具体的事業を5点に絞り、私達の工業会報告をもって、挨拶と致します。

1点目は、任意団体である工業会が、厚生労働省の支援、指導を受け「事務委託補助金として270万円」を頂き、工業会、全社の「時間短縮事業」を率先成功致しました。多くの企業の協力で、各社に厚生労働省より表彰を受けました。その実績があり平成11年には、再び厚生労働省の人材育成事業の認可を取得致しました。これは人材育成500万事業としてスタート致しました。国より「事務委託費500万円。プラス、その後3年間で150万円。合計650万円の補助金」を元に、工業会全社の人材育成事業を実施致しました。各社が積極的に実施され、各会社さんに、多額の補助金が支給されました。この、時短事業と人材育成事業は任意団体として国内初の認可と聞いております。

2点目は、米国で発生した9:11テロ事件を期に、会員会社から工業会として何かできないかとの要望に、工業会として特別委員会を立ち上げ、工業会として出来る範囲の対策事業の模索を致しました。この時期に、埼玉県が安全・安心の「まちおこし」を推奨していました。具体的なスタートとして、上田知事にお越し頂き、安全、安心の事業の現場を、見聞していただきました。結果、埼玉県より「地域防犯指定地域」の認定取得を頂くことが出来ました。また、県公安委員会にご相談を申しあげて、コミセン内に防犯セキュリティ基地の設置を実現いたしました。この基地にアルソック様と提携をいたし、工業会団地内と若葉地域まで拡大した24時間パトロールの実践を実施することで工業団地内と地域の「安全安心街作り」がさらに強化され、多くの成果を上げてきています。

3点目は、日本初と報道された環境に優しいCNG車と新ナンバーを国土交通省のご協力を頂き「社員専用の送迎バス」として本年度で15年目になりました。当時バス運行に当たり、埼玉県の土屋知事のご厚情ある配慮ご支援により「富士見工業会、共同運行貸切大型バス」の出発式を埼玉県庁よりスタートいたしました。今では工業会の一大事業となっております。少し話は外れますが、エピソードとして、お聞きください。土屋前知事の教訓で「日本人は自慢しない事が、美德と言われているが、自分の事ではなく社会や組織の事で自負する事は、社会のために仕事を実践している事だ！」「お前も自慢する仕事を実践しろ！」と喝を頂きました事が、今でも脳裏にあります。本日のご報告の中で、お聞きづらい点は笑ってお許しを下さい。

さて4点目は「私は常日頃、人と人の絆を大切に」をモットーに、運営に生かしているつもりです。その一つに、工業会事業代表者のご厚情とご理解を頂きながら各社さんから選任された会員さんが、工業会事業に直接参加しています。工業会事業運営は、委員長委員会の主導型で、各会社の優秀な方々の集団で、事業が運営されております。多くの方々のお陰様と心から感謝しております。

その様な中で、工業会でご活躍頂いた方々が転勤、退職をいたし、工業会を去る事が私の一番寂しいことです。いつまでも絆を...とOB会を創設いたしました。現在のOB会は、東洋インキの岩本3代目代表により「絆」を大切にしております。本日も10名の方々がご出席しております。今ではOB会のお仲間は40名の組織になっており、工業会事業のお手伝いをして下さったり、年2回以上の集いを実施しております。

また、工業会は49の事業所と働いている方が約1万3千名いらっしゃいます。この社員による事業として親善テニス大会が、これまで31回。野球大会が34回。今日まで、継続実施されています。

以上5点だけに絞り、ご報告申し上げます。この事業が順調に推進できる事は、此処にお集まりの関係者の皆様と工業会事業所代表者、会員と事務局のお陰様であり、深く深く、重ねがさね、感謝と御礼を申し上げます。

最後になりますが、埼玉西部経済同友会の近藤会長のご挨拶を本来頂くところですが、近藤会長のお許しを頂いておりますので一言申し上げます。この(冊子の)ページの最後に、ご案内申し上げます「写経の会」については、日本人の文化は、仏教の教えを自然体で取り入れた生活が基本になっております。(写経、雑学、己の会のご参加をお勧めいたします。)(また、同友会は地域社会のために活動を率先して実施しております。)

同友会に是非、お仲間になって頂きたく、会員募集は資料の通り実施しています。お願い申し上げます。同友会18年そして工業会35年の歴史に驕らず、更なる発展のためにマンネリ化や反省を洗い出して、本年度は改革スタートの年にする覚悟です。皆々様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご報告を持ってご挨拶といたします。ありがとうございました。



富士見工業団地工業会 会長 沼尾幸一

平成 28 年 2 月 2 日 (火) 午後 3 時より、坂戸グランドホテル Win にて約 210 名参加のもと盛大に開催されました。大下英治先生の基調講演に続き、主催者の挨拶、そして、埼玉県知事代理塩川副知事、山口泰明代議士、川合川越市長など 6 名様からご挨拶をいただきました。乾杯には多くのご来賓の方々を代表して富永照子様よりお祝いの言葉を頂戴し乾杯をしていただきました。



前列向って左側より、石田様 (川越狭山工業会 会長)、鳴海様 (新都市センター開発株代表取締役社長)、徳田様 (ブータン名誉総領事館 総領事)、馬場様 (よし乃郷 (医) 眞美会 理事長)、井上様 (坂戸市商工会 会長)、富永様 (ふるさと創生ニッポンおかみさん会代表)、小川様 (榊埼玉新聞社 代表取締役社長)、土屋様 (JU 関連協 顧問)、桑原様 ((公社) 小江戸川越観光協会 会長)、新井様 (埼玉県環境保全連絡協議会 会長) 豊田様 (航空自衛隊入間基地 退職者雇用協議会 会長) 他ご来賓の皆様



株日東 代表取締役社長  
オーナー会 三町代表より挨拶



埼玉県知事代理  
塩川副知事様よりご挨拶



### 大下英治先生 基調講演

大下英治先生をお迎えし、『安倍政権と今後の政局』と題した基調講演をいただきました。大下先生の講演は事実に基づくお話で、政局に新たな考えを皆様も持たれたものと思われまます。

## 年末パトロール実施

平成 27 年 12 月 22 日 (火) 17:00~

毎年恒例の年末防犯パトロールを実施いたしました。会員企業様の他、(公社)坂戸市シルバー人材センター様より 22 名、総合警備保障様にもご協力もいただき、合計 100 名以上で盛大に行われました。

ご参加下さいました皆様、寒い中お疲れ様でございました。



恒例の年末パトロール  
(工業団地をスタートし、



場本連絡副委員長からご挨拶  
若葉駅前 若葉ウォークまで)